

I 学 習 面

1)当てはまる項目をチェックしましょう。 当てはまる…○、多少当てはまる…△、当てはまらない…無記入

質問項目		回答欄
聞 く	① 聞き間違いがある。（「知った」を「行った」と聞き間違えるなど）	
	② 聞いた内容を覚えることが難しい。	
	③ 個別に言われると聞き取れるが、集団場面では注意を向けて聞くことが難しい。	
	④ 聞いたことの内容の理解が難しい。	
	⑤ 話合いが難しい。 （話合いの流れや前後の意見との関連付けが理解できず、ついていけないなど）	
話 す	① 適切な速さで話すことが難しい。（たどたどしく話す、とても早口であるなど）	
	② 考えを話すとき、言葉をすぐに思い出せず、言葉につまる。	
	③ 語彙が乏しく、表現の仕方が分からない。	
	④ 見たことや体験したことを順序立てて話すことが難しい。	
読 む	① 初めて出てきた語や、普段あまり使わない語等を読み間違える。	
	② 文中の語句や行を抜かしたり繰り返し読んだり、読んでいる場所が分からなくなる。	
	③ 音読に時間がかかる、またはたどたどしい。	
	④ ぱっと見て、思い込みで文を読んでしまう。 （「いきました」を「いました」と読むなど）	
	⑤ 文章の内容の理解が難しい。	
書 く	① 読みにくい字を書く。（字の形や大きさが整わない まっすぐではないなど）	
	② 同じ読み方でも意味の異なる漢字を書く。（「黒板」を「国板」と書くなど）	
	③ 漢字の細かい部分や拗音、促音等を書き間違える。	
	④ 黒板が写せない。時間がかかる。	
	⑤ 限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書けない。	
計 算 す る	① 桁の大きい数字が読めない。	
	② 指を使って計算する。計算にとっても時間がかかる。	
	③ いくつかの手続きを要する問題を解くことが難しい。 （四測混合の計算 方程式など）	
	④ 学年相応の文章題の式を立てることが難しい。	
推 論 す る	① 学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい。 （長さやかさの比較「15cmは150mm」ということなど）	
	② 見取り図や展開図の理解が難しい。	
	③ 事物の順序や因果関係を理解することが難しい。	
	④ 目的に沿って行動を計画したり、必要に応じて計画を修正したりすることが難しい。	
外 国 語	① 簡単な語句や基本的な表現を聞いて、意味を理解することが難しい。	
	② 簡単な語句や基本的な表現をまねて言うことはできるが、すぐ忘れてしまう。	
	③ アルファベットが正確に書けない。（大文字と小文字、bとdの区別など）	

※ 無記入の項目は、「強みとして生かせそうな点」、○が付いた項目は「気がかりな点」として捉えます。

2)前ページで○が付いた項目(気がかりな点)の考えられる要因を以下から探し、「✓」を付けましょう。

<要因の確認と強みの発見>

「✓」が付かない項目は、「強みとして生かせそうな能力」と考えます。

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 聞く力(聞き分け、聞き取り、音の取捨選択等) |
| ☐ | 見る力(注視、追視等) |
| ☐ | 文字と音を一致させたり正しく並べたりする力 |
| ☐ | 形や空間の広がりを理解する力(形の弁別、位置関係、空間認知、目と手の協応等) |
| ☐ | 身体の動き(粗大運動、微細運動、協調運動、力の加減、道具の使い方、滑舌等) |
| ☐ | 知っている言葉の数(語彙数) |
| ☐ | 言葉や文字等を記憶する力 |
| ☐ | 言葉や文字等を思い出す力(想起) |
| ☐ | 単語を見て意味をイメージする力(抽象的な語、気持ちを表す語等) |
| ☐ | 文の意味を理解する力 |
| ☐ | まとめる力(順序立て、因果関係、関連付け、要点の把握) |
| ☐ | 数を見て量や長さをイメージする力 |
| ☐ | 数を頭の中で操作する力(合成分解) |
| ☐ | その他の力(Ⅱ行動面・Ⅲ社会性)との関連 |

3)「Ⅴ支援検討シート」に記載する内容を整理しましょう

「強みとして生かせそうな点」…○が付かなかった領域や質問項目、日頃の様子から選ぶ。

「✓」が付かなかった能力を関連付けるとなおい。

「気がかりな点」…○が付いた領域や質問項目、要因を記入する。

Ⅱ 行 動 面

1)当てはまる項目をチェックしましょう。 当てはまる…○、多少当てはまる…△、当てはまらない…無記入

質問項目		回答欄
不注意	① 学校の勉強で、細かいところまで注意を払わない、不注意な間違いをする。	
	② 課題や遊びで注意を集中し続けることが難しい。	
	③ 面と向かって話しかけられているのに、聞いていないようにみえる。	
	④ 他の活動や話題に注意がそれてしまい、課題を完了することが難しい。	
	⑤ 学習課題や活動を段取りよく行うことが難しい。	
	⑥ 学習課題や活動に必要な物を忘れやすい。	
	⑦ 気が散りやすい。	
多動性・衝動性	① 手足をそわそわ動かしたり、着席していても、もじもじしたりする。	
	② 授業中や座っているべきときに席を離れてしまう。	
	③ 質問が終わらないうちに出し抜けに答えてしまう。	
	④ 順番を待つことができない。	
	⑤ 他人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする。	

※ 無記入の項目は、「強みとして生かせそうな点」、○が付いた項目は「気がかりな点」として捉えます。

2)上記で○が付いた項目(気がかりな点)の考えられる要因を以下から探し、「✓」を付けましょう。

<要因の確認と強みの発見>	
「✓」が付かない項目は、「強みとして生かせそうな能力」と考えます。	
☐ 必要な情報を選択し注目する力	☐ 集中力・集中の度合い
☐ 持続力	☐ 記憶力
☐ ルールや順番の遵守	☐ 物の整理・整頓
☐ 多動性	☐ 衝動性
☐ その他の力(Ⅰ学習面・Ⅲ社会性)との関連	
※学力が高すぎるために不注意や無気力にみえることがあります	

3)Ⅴ「支援検討シート」に記載する内容を整理しましょう

「強みとして生かせそうな点」…○が付かなかった領域や質問項目、日頃の様子から選ぶ。

「✓」が付かなかった能力を関連付けるとなおよい。

「気がかりな点」…○が付いた領域や質問項目、要因を記入する。

Ⅲ 社会性

1)当てはまる項目をチェックしましょう。 当てはまる…○、多少当てはまる…△、当てはまらない…無記入

質問項目		回答欄
人とのかかわり	① 共感性が乏しい。 あいづちを打つ、微笑むなど共感する言動が少ない。	
	② 周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言うてしまう。	
	③ 友達と仲良くしたいという気持ちはあるが、友達との関わり方が分からず、関係がうまく築けない。	
	④ 友達のそばにいるが、一人で遊んでいる。	
	⑤ 球技やゲームをするとき、仲間と協力することが難しい。	
コミュニケーション	① 相手の言うことを言葉どおりに受け止めてしまうなど、前後の状況から意味を想像することが難しい。	
	② 言葉のキャッチボールができない。	
	③ 会話の仕方が形式的で、抑揚なく話したり、独特な声で話したりする。	
	④ 誰かに何かを伝える目的がなくても、場面に関係なく声を出す。 (唇を鳴らす、咳払い、喉を鳴らす、叫ぶなど)	
	⑤ いろいろな事を話すが、そのときの場面や相手の感情や立場を理解しないで話す。	
興味関心・こだわり	① みんなから、「〇〇博士」「〇〇教授」と思われている。(カレンダー博士等)	
	② 特定分野での知識を蓄えているが、丸暗記であり意味をしっかりと理解していない。	
	③ とても得意なことがある一方で、極端に不得手なものがある。	
	④ 自分なりの独特な日課や手順がある。	
	⑤ 見通しがもてない突然の予定変更や変化を嫌がる。	
	⑥ 特定の音や触感に対する強い拒否反応がある。	
自己理解	① 自分の得意、不得意が分からない。	
	② 自分のやりたいことがみつからない。	
	③ 不得意分野の対処法を知らない。	
その他	① 独特な目つきや表情をする。(場面に関係なくにやける 薄目でいるなど)	
	② 動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちない。	
	③ 意図的でなく、顔や体を動かす。	
	④ 独特な姿勢をしている。(常に背筋が伸びている、低緊張で姿勢が保持できないなど)	

※ 無記入の項目は、「強みとして生かせそうな点」、○が付いた項目は「気がかりな点」として捉えます。

2)上記で○が付いた項目(気がかりな点)の考えられる要因を以下から探し、「✓」を付けましょう。

<要因の確認と強みの発見>

「✓」が付かない項目は、「強みとして生かせそうな能力」と考えます。

☐ 相手の心情の理解・気持ちの共有	☐ 状況の理解
☐ コミュニケーション(関わり方)スキルの獲得	☐ 興味の偏り
☐ ルール(順番も含む)の理解	☐ こだわり
☐ 行動調整	☐ 想像力・見通し
☐ 感覚の過敏さ・鈍感さ	☐ 特徴的な行動
☐ 情緒面(不安が大きい、意欲がないなど)	

Ⅳ 二次的にみられる行動

1)当てはまる項目をチェックしましょう。 当てはまる…○、多少当てはまる…△、当てはまらない…無記入

質問項目	回答欄
① 不登校、保健室登校、遅刻や早退がみられる。	
② 医学的な原因が見つからないが、腹痛や頭痛を訴える。	
③ 無気力又は意欲がない様子がみられる。 (授業中突っ伏して眠る 宿題を提出しないなど)	
④ ささいなことですぐにかんしゃくをおこす。	
⑤ ちょっと注意されたことをひどく怒られたように被害的に捉える。	
⑥ 「どうせできない」など自己否定的な言動がある。	
⑦ 極端に手洗いを続けたり、汚れを嫌ったりする。	
⑧ 先生や友達に対して、極端な暴言や暴力をふるう。	
⑨ 他人のものを盗ったり、隠したりする。	
特記事項 (例) 虚言が多い。死にたいと言う。苦手なことに取り組もうとしない。ほめられても無反応である。摂食障害等	

2)上記で○が付いた項目の考えられる要因を以下から探し、「✓」を付けましょう。

<要因の確認>	
☐	成功体験の不足・失敗体験 ◆
☐	他者への恐怖感 ◆
☐	自己有用感・自己肯定感 ◆
☐	家族関係・生活環境
☐	教師や友人との関係・学習環境
☐	トラウマな出来事

3)本人の心情や取り巻く環境に関して、**早急に教育的対応を考えましょう**

- ※一つでもチェックが付く、もしくは特記事項に記載がある場合は、必ず対応を考えます。
- ・校内や保護者、関係機関と連携して対応を考えます。
 - ・◆の要因については、Ⅰ学習面・Ⅱ行動面・Ⅲ社会性の結果を踏まえて対応を考えていく必要があります。

V 支援検討シート

学年・組		氏名		記入者		作成日	
------	--	----	--	-----	--	-----	--

本人に関する情報		※質問項目や日頃の様子等を転記
	強みとして生かせそうな点	気がかりな点
I 学習面		
II 行動面		
III 社会性		
その他	【好きなこと・特技】	【二次的にみられる行動】 ※教育的対応を「配慮すべきこと」に必ず記入
	【診断名・検査結果等】	



伸ばしたい力	※本人に関する情報から少し努力すれば達成できそうな点を記入

願い(現在の希望・将来の夢)	
本人	
保護者	

配慮すべきこと

支援(校内支援体制)の検討・実践

誰が	どんな場面	どんな支援